

平成三十一年 初春  
社会福祉法人みなと寮 理事長 大西豊美

引き続き倍旧のご指導とご支援をお願い申し上げます

先取の気持ちをお忘れなく  
歩みを進める所存です

改めるべきは改めることを心に置いて

守るべきをしっかりと守り

私たちは新しい年にあたり

近年複合的な福祉課題を抱える方が増えています  
また公的な福祉サービスの対象ではないけれど  
生活のしづらさを感じている方もおられます  
その中で社会福祉事業に求められることは  
これまでも増して多くなっているように感じます  
私たちは人々の暮らしを守りながら  
同時にさまざまな変化によって生まれる  
新しい要求にも応えていかなければなりません

本年もよろしくお願い申し上げます

謹賀新年

昨年わが国は地震や台風などの天災に続けて見舞われました  
罹災された方まだ避難生活が続いておられる方に  
心よりお見舞い申し上げます



### 職員基礎研修を開催

11月12日、アートホテル大阪ベイタワーにて、平成30年度職員基礎研修を実施しました。  
この研修は、職員の定着率向上を目的に1年目から3年目までの職員を対象とし、平成27年度から実施しております。  
今年度からは、新たに創設されました『研修企画部』が主催となり行われました。  
今回の研修は45名を対象に、ブレインストーミング、KJ法を用いて、『利用者支援に大切なもの』をテーマにグループディスカッションを行いました。  
ディスカッションでは、さまざまな意見が交わされ、普段関わる事の少ない法人内の他施設職員との意見交換・情報共有の場となりました。



研修の様子



### 公益的な取り組み

毎号シリーズで公益的な取り組みをご紹介します。  
第7号は特別養護老人ホーム愛港園の配食サービスの取り組みです。  
現在、愛港園の配食サービスは、月曜日1名、金曜日2名の方に、お昼ご飯を無料で宅配し、召し上げて頂いています。  
愛港園が古くから取り組んでいる地域サービスの一つで、回数は少ないのですが、独居の高齢者の方に、安否確認も兼ねて温かいお食事を提供できるとあって、大変ご好評頂いております。「いつもありがとうございます」「とっても美味しいです」とお話し下さる地域の方々の笑顔に我々も支えられているのだと感じます。今後も多くの方々にご利用して頂けたらと考えています。



### 港区民まつり会場 清掃ボランティア

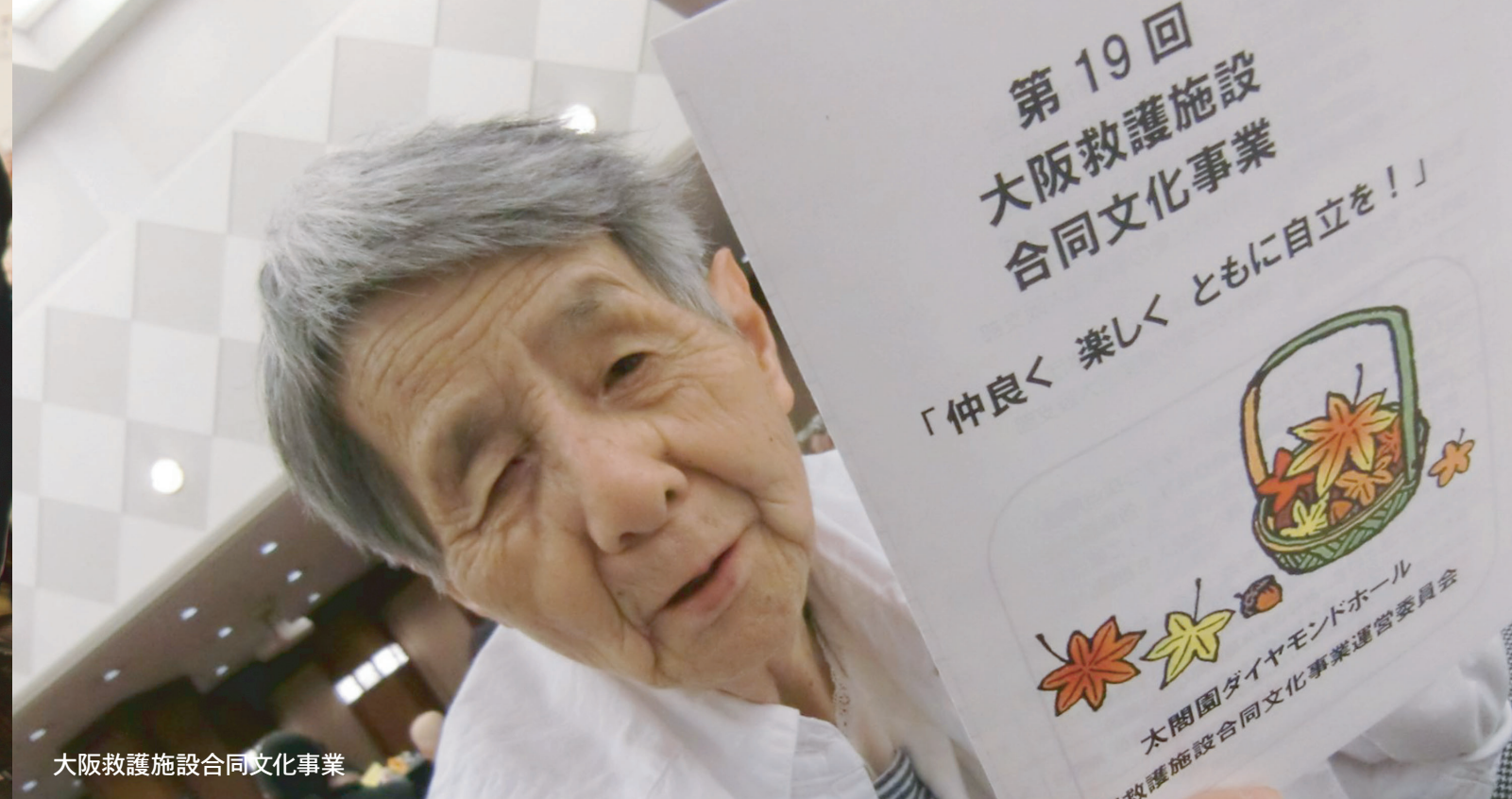
平成30年10月7日、8日の2日間、港区民まつりが行われ、会場である八幡屋公園内の清掃を実施しました。こうせいみなとからは9名の利用者が参加されて、大阪コミュニティ協会 港区支部協議会職員の方と協力してゴミ拾い等の清掃に取り組みました。今年は例年に比べてゴミの量が少なくスムーズに進みました。来年も地域の方々と協力して実施していきたいと思っております。  
(救護施設こうせいみなと 池田隆弘)

### 編集後記

明けましておめでとうございます。昨年は広報紙『みなと』をお読み頂きありがとうございました。今年も、当法人の取り組みや、施設を利用されている方々が行事で楽しんで頂いている様子などをもっと皆様にお伝えしたいと思いますので、引き続き、広報紙『みなと』を宜しくお願い致します。  
さて、今号は、各救護施設での野外生活訓練、合同文化事業、特別養護老人ホームでの諸行事の様子をお伝えしました。各行事とも利用者の皆さんとても楽しまれており、本当にいい笑顔がされています。  
介護や生活支援に携わる私たちにとって、単に身の回りのお世話をしているのではなく、その方の生活や生き方に関わり総合的に支援している、そういった介護観を普段から大切にしていかなければならないと改めて感じました。 みなと寮 法人本部 中谷 厚



マグロ解体ショー 弘済院にて



大阪救護施設合同文化事業

### もちつき



特別養護老人ホーム愛港園

年の瀬迫る年末の風物行事である「もちつき」を開催しました。力強く餅をつくタイミングに合わせて自然に「よいしょー」と声があがり、笑い声の中で杵を取りべったんべったんと大きなおもちがつきあがりました。

ちいさくちぎったおもちを試食して晴れやかな表情で過ごすことができました。平成最後となった年末あと数日、皆さんの長寿を願い健康をお祈りして新年を迎える準備は整いました。

(特別養護老人ホーム愛港園 浅田大輝)

### クリスマス会



みなとデイサービスセンター

12月22日(土)・24日(月)・25日(火)の3日間は、みなとデイのクリスマス会で盛り上がりました。スタッフによるハンドベル演奏や、看護師さんのフルート演奏、サンタさんによるギターコンサートなど、利用者と会場一体になり盛り上がりました。

(みなとデイサービスセンター 豊原由美子)



### マグロ解体ショー



弘済院第1特別養護老人ホーム

毎年11月に「マグロ解体ショー」を開催しています。

今年のマグロは長崎県産の本マグロ(1回目46.6kg、2回目40.8kg)を使用。丸々太っていて例年より大きく、非常に脂が乗っていました。切り落としたマグロの頭を利用者の目の前へ持って行く皆様興味津々。捌かれたマグロは造りや刻みにして、利用者の皆様にその場で試食もしていただき「美味しい」「こんな初めてや」と非常に喜ばれていました。当日の昼食は解体ショーで使用したマグロを提供させていただきました。

(弘済院第1特別養護老人ホーム 塩飽峰美)

### 野外生活訓練



救護施設千里寮

11月19日、20日の2日間で『野外生活訓練』として愛知方面へ出かけました。天候にも恵まれ、皆さん期待に胸を膨らませて出発しました。「あいち航空ミュージアム」で「ゼロ戦」を見学し、「食品サンプル作り体験」では、蠟でレタス・えび天等のサンプルを作りました。地域とのふれ合いやもの作り体験を通して、少しでも自立意識の底上げにつながったと感じています。

(救護施設千里寮 池田昌子)



救護施設こうせいみなと

10月29、30日の2日間、『野外生活訓練』として若狭方面へ出かけました。道中、バスを降り、京都・美山町の「かやぶきの里」に立ち寄りました。ここは数多くのかやぶき民家が現存しており、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。日本の原風景に出会えるスポットとして人気で、昔ながらの町並みを散策しながら、利用者は「なつかしい」「子どもの頃を思い出す」などと話されていました。

(救護施設こうせいみなと 内堀世紀)



救護施設みなと寮

『野外生活訓練』として11月5、6日の2日間、長野県の昼神温泉へ出かけました。観光をはさんで、昼神温泉のホテル阿智川へ。「泉質によりお肌がつるつるになりました!」と利用者より驚きと喜びの声をたくさん頂きました。また料理も、ホテルの会席をはじめ、地元の名物料理を生き生きとした表情で堪能されていました。

旅行中、普段の生活の中では見ることのできない利用者の豊かな表情や違った一面を見ることができました。

(救護施設みなと寮 香川菜摘)

### こころむ

## 第三者評価を 受審して

昨年12月に第2愛港園、今年1月に第2みなとデイサービスセンターが初めて第三者評価を受審しました。書類の準備については、多忙な業務の中で苦戦しましたが、現状を見直す中で新たな気づきや課題、目標がはつきりしてきました。第三者委員の方から、もたくさんの助言をいただき、施設の強みや弱みの部分が明らかになり大変勉強になりました。

今回の受審結果をしっかりと整理し、より質の高いサービスが提供できるように努力していきたいと思えます。

(特別養護老人ホーム第2愛港園 萱野 裕二)

祝！りんくうみなと 準優勝!!

第19回大阪救護施設合同文化事業が11月22日に太閤園にて開催されました。この事業は、年に一度大阪府内の15の救護施設が集まり、歌・ダンス・劇・展示作品等を披露する行事です。

りんくうみなとの発表は、追悼の意味を込めて西城秀樹さんの「ヤングマン」の曲でダンスを披露することに決まりました。

同じ振り付けの繰り返しなので踊りやすいと思っていましたが、実際にやってみると難しく、練習あるのみと思ひ、暑い夏の時期から練習を重ねてきました。

テーマとして「笑顔で楽しく」を掲げており、本番も元氣一杯で発表することにより、観客の皆様から拍手を貰うことができ、会場との一体感が優勝することにつながったと思います。

表彰結果を受け、早くも来年へ向けて「こんな事がしたい」「次こそ優勝。」と意欲的な発言が聞かれており、来年こそは優勝できるように頑張りたいと思います。

※府内救護施設内出場は13施設のみ  
(救護施設りんくうみなと 菊池ちあみ)